

マクニカが日本企業のセキュリティ確保を支援

テクノロジー企業が Akamai のグローバル・クラウド・ソリューションを活用して、日本企業のセキュリティ、イノベーション、国際的な成長を促進



信頼できるパートナーの
獲得



セキュリティポート
フォリオの拡大



顧客のグローバル展開を
実現

最先端技術の提供

半導体分野でスタートしたマクニカは、先進的なテクノロジー・ソリューション・パートナーへと進化し、将来性のある主要企業を支援する最先端の製品とサービスを提供しています。現在は半導体以外にも、最上位の電子機器やネットワーク機器に加え、最新の新興技術も提供しています。顧客のニーズに合わせてカスタマイズしたセキュリティおよびクラウド・コンピューティング・サービスを提供することで事業を拡大しようと考えたとき、マクニカは Akamai とパートナーシップを構築しました。

拡大するアタックサーフェスに対処

最先端のネットワーク機器とソフトウェアを提供するワンストップ型ソリューションプロバイダーとして、マクニカは多くの日本企業にサイバーセキュリティサービスとクラウドインフラを提供しています。President 兼 CEO の畠山義秀氏は、「グローバルに事業を展開している日本企業と連携しており、国内と海外の両方でこうした企業のクラウドコンピューティングとサイバーセキュリティのニーズを満たすことができるパートナーを必要としていました」と説明しています。

MACNICA
マクニカソリューションズ株式会社

場所

日本、横浜
macnica.co.jp

業種

ハイテク

ソリューション

- API Security
- Akamai Guardicore Segmentation
- クラウドコンピューティング

パートナーシップを通じた強みの強化

マクニカはそのサービスを強化するために、Akamai Guardicore Segmentation と Akamai API Security をそのソリューションポートフォリオに統合することを選択しました。同社はこれらのソリューションを使用してマネージドサービスを開発し、顧客の課題を解決するクラウドコンピューティング事業を立ち上げることを計画しています。

「Akamai の広範なポートフォリオと、当社のセキュリティに関する深い知識と経験を融合することで、トップレベルのソリューションを提供します」と、畠山氏は言います。「これにより、お客様の環境に合わせたセキュリティとクラウド統合を提供する当社の能力を強化することができます」。

畠山氏は、Akamai がマクニカの顧客ニーズに応える独自の能力を備えていることを強調しました。「Akamai は、日本企業のグローバル展開を支えることができる唯一のプロバイダーです。その広大なインフラと専門知識を活用することで、当社サービスのセキュリティと信頼性を大幅に向上することが可能になっています」。

API 攻撃からの保護

API は、ほぼすべての業界の根幹であると同時に、サイバー攻撃の主要な標的にもなっています。Akamai のデータによると、前年比で 109% 増 という驚異的な増加が API 攻撃で見られています。

畠山氏は、この問題について、「API は至る所で利用されていますが、それらがもたらす真のリスクは過小評価されがちです。これらの脅威を迅速に発見して排除しなければ、インターネットとデジタル社会の未来に深刻な支障をきたす可能性があります」と強調しています。

Akamai の API Security を使用することで、同社はより堅牢なソリューションを提供して企業を保護し、体制をさらに強化しています。「お客様のニーズに合わせたセキュリティ監視と統合サービスを提供することで、お客様が Akamai API Security のようなツールを最大限に活用できるようにしています」。

“

これほど信頼性の高いテクノロジーをグローバルに展開している企業は、Akamai の他にありません。これを活用することで、日本企業の世界進出を支援することができます。

— 畠山 義秀氏
マクニカソリューションズ株式会社、代表取締役社長



マイクロセグメンテーションによるアタックサーフェスの最小化

ネットワークとアプリケーションのセグメンテーションに関しては、ネットワークベースのコントロールに依存している従来の方法では管理が難しく、範囲が広すぎるのがよくありました。そこに登場したマイクロセグメンテーションは、基盤となるインフラからセキュリティを分離する画期的な技術で、保護と可視性を最も必要な場所に簡単に拡張できます。Akamai Guardicore Segmentation は、コンテナやその他最新のデプロイメントによって従来の境界セキュリティでは時代遅れになる、今日のクラウドファーストの世界で極めて重要な、精度のレベルを追加します。

「XDR ソリューションは優れていますが、検知と対応だけではすべての脅威を阻止することはできません」と、畠山氏は説明します。「マイクロセグメンテーションは、安全なゾーンを絞り込んで定義することで、最初から安全な環境を確保することができます」。

体験をさらに強化

Akamai の最適化された信頼性の高いグローバル・クラウド・インフラとセキュアなクラウドソリューションを活用することで、マクニカは日本企業の世界進出を支援しています。同社は、Akamai のクラウドエッジテクノロジーをさらに統合しながら、革新的なソリューションで限界を押し広げていくことを計画しています。「当社は、ユーザーが Akamai Connected Cloud 独自の機能を最大限に活用して、それぞれの体験を向上することができる環境を構築することを目標としています」と、畠山氏は締めくくっています。



マクニカは、半導体とサイバーセキュリティを中心に、最新技術を包括的に管理するサービスとソリューションを提供する企業です。世界中で 26 の国と地域に 92 の拠点を構え、50 年以上にわたり培ってきた技術的専門知識とグローバルネットワークを活用して、AI、IoT、自動運転など最先端テクノロジーの探求、提案、導入を行っています。